

各国コメント 1

国際分析に対するコメント（中国）

百崎 賢之

（農林水産政策研究所 主任研究官）



1. 中国国内における「上海市民」の食と消費の特徴

(1) アンケート調査の回答者について

アンケート調査の対象は、ほとんど上海市民(236人中231人)

そこで、中国全国の中での上海とは・・・

- ・ 人口 2,619万人(全国:14億8,223万人(1.8%) 2023年)
うち65歳以上 512万人(全国:2億2,825万人(2.2%))
うち15歳未満 251万人(全国:2億4,281万人(1.0%))

・・・全国と比較すると、高齢者が多く、若年層が少ない地域

1. 中国国内における「上海市民」の食と消費の特徴

資料：中国統計年鑑

(2) 収入と支出

- 一人当たり可処分収入(一元＝20.56円(2025年7月14日))

都市住民(※):8万9,477元(全国:5万1,821元 省別ランキング1位)(31位:黒龍江省 3万6,492元)

農村住民(※):4万2,988元(全国:2万1,691元 省別ランキング1位)(31位:甘肅省 1万3,131元)

※ 都市(住民)と農村(住民)は、中国特有の戸籍上の区分ではなく、現居住地による区分。

(「上海市民」(2,487万人(2023)中、「都市」:2,225万人、「農村」:262万人(うち、上海市に戸籍を有する人口は約1,500万人(上海市公表データ)
(全国では、14億0,967万人中、「都市」9億3,267万人 「農村」:4億7,700万人)

- 一人当たり消費支出

都市住民:5万4,919元(全国:3万2,994元 31省(自治区・直轄市)中1位)(31位:広西チワン族自治区 2万4,427元)

うち食品(酒・たばこ含む) 1万3,568元 (全国:9,495元 31省中1位)(31位:山西省 6,216元)

収入に対する構成比:全国18.3%に対し15.2%(31省中29位)(1位:海南省(25.3%)、31位:北京市(11.9%))

消費支出に対する構成比:全国28.8%に対し24.7%(31省中30位)(1位:海南省(37.2%)、31位:北京市(20.8%))

農村住民:3万0,782元(全国:1万8,175元 31省(自治区・直轄市)中 1(1位)(31位:甘肅省 1万3,131元)

うち食品(酒・たばこ含む) 1万0,025元 (全国:5,880元 31省中1位)(31位:甘肅省 3,999元)

収入に対する構成比:全国27.1%に対し23.3%(31省中24位)(1位:海南省(35.7%)、31位:北京市(19.5%))

消費支出に対する構成比:全国32.4%に対し32.6%(31省中12位)(1位:海南省(43.7%)、31位:北京市(27.8%))

1. 中国国内における「上海市民」の食と消費の特徴

(3) 食品消費量

資料：中国統計年鑑

・一人当たり年間食品消費量(都市住民間における比較)

(31省・市の中の消費量順位)

食糧(穀物・豆・イモ類)	92. 2kg(全国 115. 6kg、26位)
食用油	8. 3kg(全国 9. 3kg、19位)
野菜・キノコ	99. 6kg(全国 114. 0kg、21位)
肉類	34. 1kg(全国 39. 6kg、19位)
豚肉	22. 8kg(全国 28. 7kg、20位)
牛肉	5. 1kg(全国 3. 9kg、5位)
家きん肉	12. 2kg(全国 12. 6kg、12位)
水産物	24. 2kg(全国 17. 4kg、6位)
乳製品	22. 6kg(全国 16. 3kg、4位)
果実類	54. 3kg(全国 67. 6kg、25位)

・一人当たり年間食品消費量(農村住民間における比較)

食糧(穀物・豆・イモ類)	158. 7kg(全国159. 8kg、16位)
食用油	14. 0kg(全国 10. 9kg、7位)
野菜・キノコ	119. 1kg(全国113. 0kg、11位)
肉類	60. 9kg(全国 52. 1kg、8位)
豚肉	34. 9kg(全国 32. 9kg、11位)
牛肉	3. 3kg(全国 2. 2kg、5位)
家きん肉	16. 6kg(全国12. 0kg、5位)
水産物	27. 5kg(全国12. 2kg、5位)
乳製品	16. 0kg(全国 8. 9kg、2位)
果実類	53. 0kg(全国51. 7kg、13位)

2. 中国全国の「都市」と「農村」食品消費量の比較

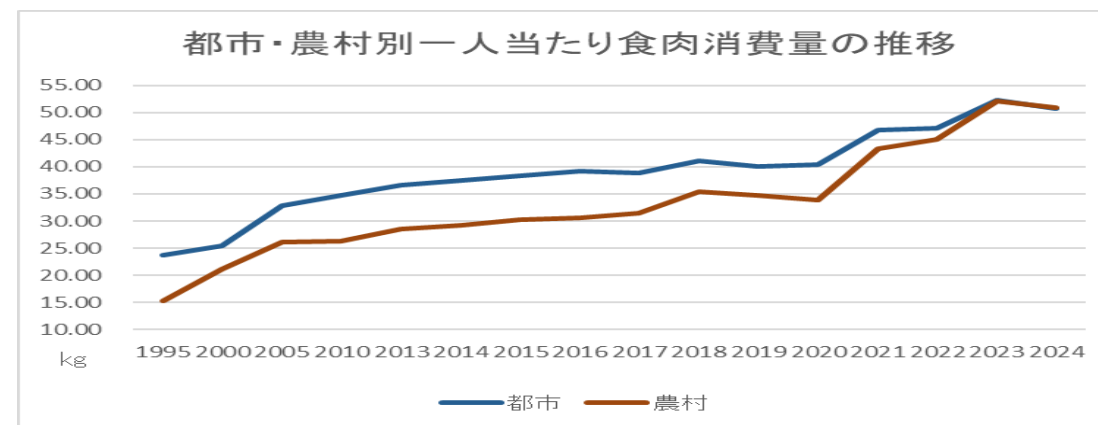
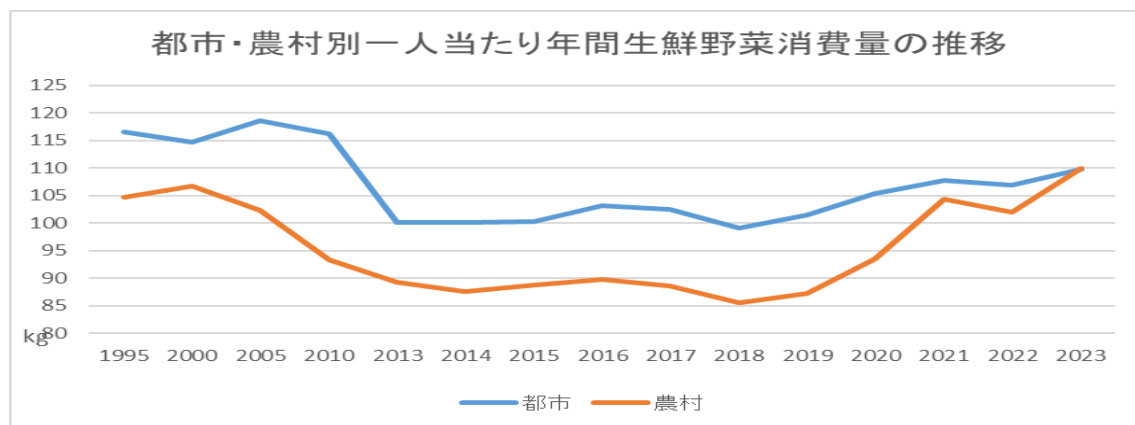
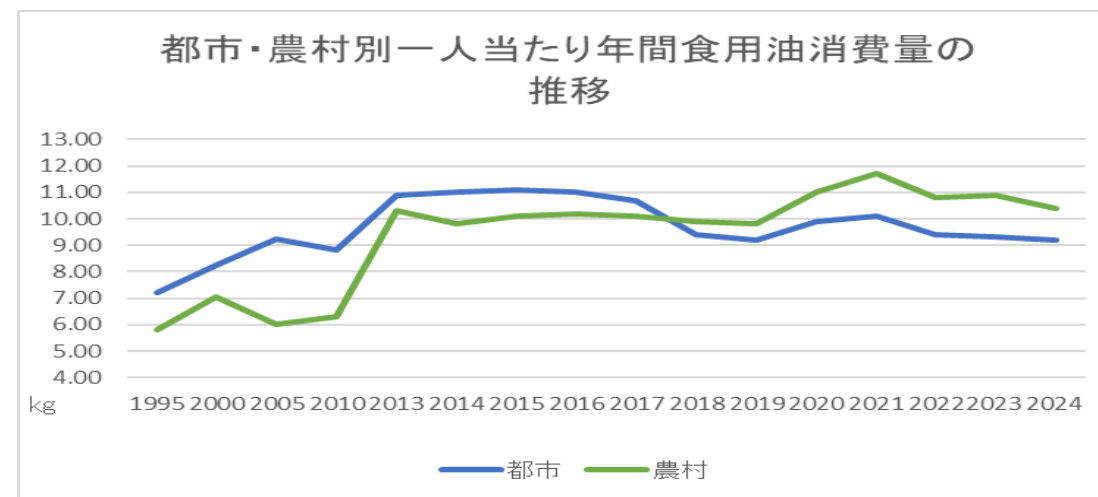
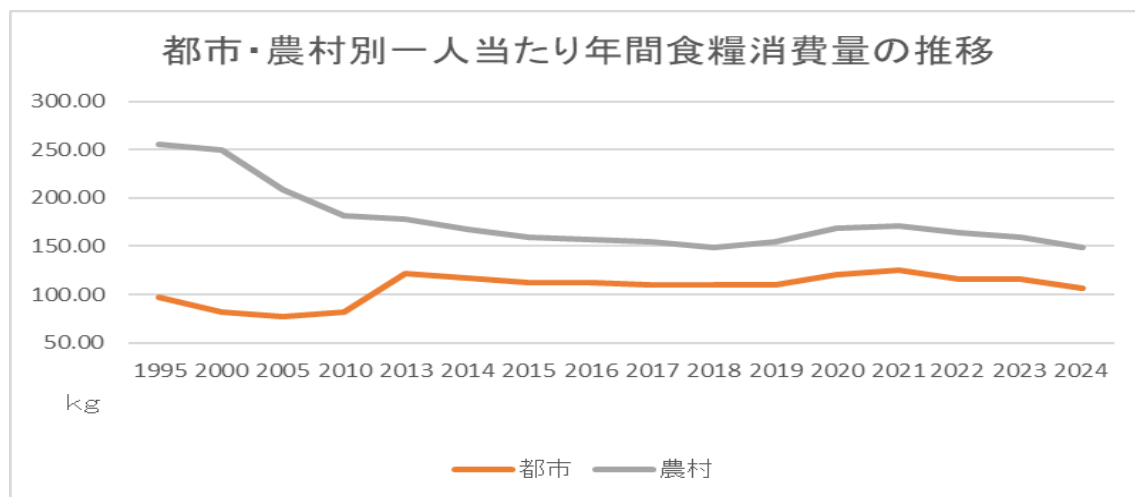
資料：中国統計年鑑

・中国の国民一人当たり年間食品消費量(都市住民と農村住民の間の比較)(2023年)

(食品種類)	(都市住民消費量(A))	(農村住民消費量(B))	(B/A)
食糧(穀物・豆・イモ類)	115.6kg	159.8kg	1.38
食用油	9.3kg	10.9kg	1.17
野菜・キノコ	114.0kg	113.0kg	0.99
肉類	39.6kg	52.1kg	1.32
豚肉	28.7kg	32.9kg	1.15
牛肉	3.9kg	2.2kg	0.56
家きん肉	12.6kg	12.0kg	0.95
水産物	17.4kg	27.5kg	1.58
乳製品	16.3kg	8.9kg	0.55
果実類	67.6kg	51.7kg	0.76

3. 都市・農村別中国一人当たり年間食糧消費量の推移

資料：中国統計年鑑



4. まとめ

(1) 中国国内における「上海市民」の食と消費の特徴

- ・ 上海市は、中国の中で最も高収入、年齢層が比較的高く、交通の利便性が高いこと等が食生活の状況に影響していると考えられる
- ・ 食に要する費用が比較的大きいが、一方でそれを上回る平均的な高収入や、生活の質、利便性が確保された状況にあり、豊かな食生活を享受
- ・ 食が量的に充足し、個々の食材においては、中国国内で、上海市の食物摂取量にはあまり際立った特徴はない
 - むしろ高齢化の中で、健康を意識した消費量の減退傾向が顕著
- ・ 全国で最も豊かな食生活を送れる商業サービス業の発展がみられる中で、食材の調達について特に困難はないものと推察される

4. まとめ

(2) 中国(全体)の食と消費の特徴

- ・ 国土の広さと民族・文化の多様さ＝食文化の多様性
- ・ 食、食べることを大切にする文化・伝統 「民は食をもって天と為す」
- ・ 都市と農村の間には大きな所得・生活レベルの格差
 - ⇒ しかし、食における格差は相当縮小
 - ⇒ むしろ、全体的な国民の食の充足の中、農村の消費が都市に追いつき、逆に都市の食の変化(消費量の減少。健康志向の高まり)の中で、食用油などは農村の消費が都市を逆転、食肉においても、量的には接近
- ・ ただし、収入や消費全体に占める食品支出の比率の面では、農村が都市を大幅に上回る状況

5. 番外編（新しいトレンド）

「スナック量販店」の台頭

スナック（注：簡便食品、「ジャンクフード」を含む）の製造業者が自ら大中型直営量販店舗を建設、或いはフランチャイズ化した専門店をオープンさせる業態が急速に拡大中

業界トップ企業と第2位の企業を合わせ、25年7月現在で3万店を超え、今年中には4.5万店に達するとみられている

「スナック市場」の24年の業態別販売シェアは、「量販店」が37%となり、スーパーマーケット（22%）、EC（20%）を上回っている

（出典：Daily NNA 2025年7月4日）

参考文献

- 中国統計年鑑(2024年版)
- Daily NNA中国総合版 2025年7月4日(第07098号)